

「ブラジル日本 戦後移住 60 周年祭」でブラジル戸田建設が受賞

— ブラジルの発展に貢献 日系ゼネコンで唯一の受賞 —

戸田建設(株) (社長 今井雅則) のグループ企業であるブラジル戸田建設(株) (社長: 三上悟) は、7月19日に開催された「ブラジル日本 戦後移住 60 周年祭」(主催: ブラジル日本都道府県人会連合会、開催地: ブラジル連邦共和国サンパウロ州 聖市イミグランテス会場)において、「日伯交流に顕著な功績のあった団体・企業」として表彰を受けました。

この「ブラジル日本 戦後移住 60 周年祭」は、日本人の戦後移住 60 年目を迎えたことを記念した式典です。日本からブラジルへの最初の移民は 105 年前の 1908 年までさかのぼり、第二次世界大戦で一度中断しましたが 1953 年に再開され今年 60 年目を迎えました。

各分野から推薦があった 50 余りの企業・団体から実行委員会の審査を経てブラジル戸田建設(株)をはじめとしてトヨタ・ド・ブラジル(株)、パナソニック ブラジル(株)などを含む 36 の企業、団体が表彰され、サンパウロ州議会から記念プレートが贈られました。日系ゼネコンとしてはブラジル戸田建設(株)のみが表彰を受けました。

ブラジル戸田建設(株)は 1972 年の設立以来現在まで、41 年間にわたり日系人社会に対する直接、間接的な協力と、日本の技術を生かした建設を行うことによりブラジル国内全体への発展に貢献してきました。ブラジル戸田建設(株)の社員やそのOB達による地道な活動がこのたびの評価につながったと考えています。

今後も、会社基盤を更に強固なものにしていくとともに、日本の新しい技術を駆使しながら建設事業を行っていくことで、日系社会のみならずブラジルの発展に寄与していきたいと考えています。



写真 授賞式の様子 (右から2番目がブラジル戸田建設(株)社長三上悟)